

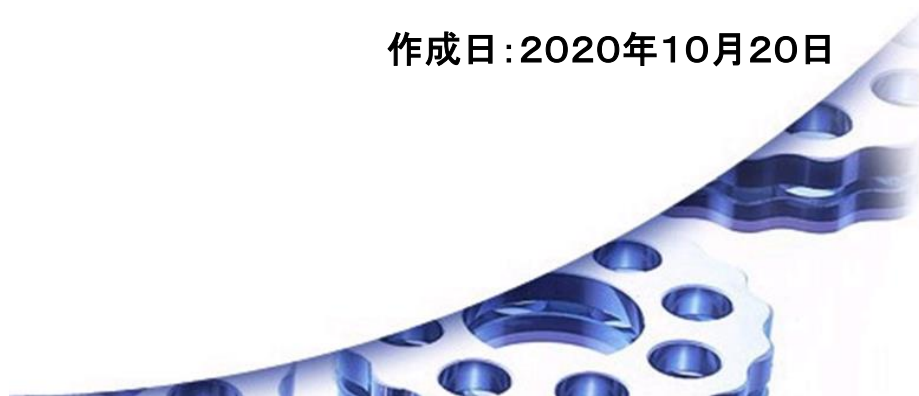
環境活動レポート

(期間 2019年9月～2020年8月)



広和機工株式会社

作成日：2020年10月20日



広和機工株式会社

環境方針

《基本理念》

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の最重要命題であり普遍のテーマであると考えています。

産業機械・設備の要である変・減速機・制御機器の販売とメンテナンスを主体とした事業活動を通じて、省資源、廃棄物の抑制等、環境にやさしい企業活動を継続して行なうことを約束します。

《行動指針》

(1) 私たちは、以下の行動指針に基づき、全社員が環境に配慮した環境保全活動を行ないます。

- ① 事業活動から生じる電力・自動車燃料の消費に伴うCO₂排出量の抑制に取り組みます。
- ② 事業活動における原材料の省資源、水使用量の削減、有害な化学物質の削減に取り組みます。
- ③ 環境に関連する法規制・地域条例及び自主的な基準の要求事項を明確にして遵守します。
- ④ 廃棄物の削減及び分別等によるリユース・リサイクルの推進を行ないます。
- ⑤ グリーン購入を推進し、環境負荷の低減に努めます。
- ⑥ 会社周辺の環境保全、清掃活動を行ないます。
- ⑦ 省力化・人手不足を補う製品の販売、提案を通して環境、社会に貢献する活動を行います。

(2) 環境指針は、全社員に周知を図り、社会情勢や環境の変化に応じて見直しを行ないます。

私たちの環境方針は、広く一般の人が閲覧・入手可能なように公開します。

令和1年8月26日
広和機工株式会社
代表取締役

余越剛志

【組織の概要】

(1) 名称及び代表者名

広和機工株式会社
代表取締役社長 余越剛吉

(2) 所在地

本社 広島県廿日市市木材港北3番28号
宇部事業所 山口県宇部市大字棚井字門田501-5
広島営業所 広島県広島市佐伯区八幡東四丁目31番11号
南九州事業所 熊本県八代市古閑浜町西割2683-1

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 向井秀城
連絡先 環境事務局 中村貴恵
TEL 0829-32-3201 FAX 0829-32-3204

(4) 事業内容

変減速機等の一般機械機器の卸売及び関連商品の修理
主要製品: 変減速機・モーター・ブロワー・油圧モータ

(5) 事業の規模

売上高 2,202 百万円/年 (2019年9月～2020年8月)
(内サービス売上高 446百万)

	本社	宇部事業所	広島営業所	南九州事業所	計
従業員	34 人	10 人	1 人	6 人	51 人
延べ床面積	2,660 m ²	699 m ²	30 m ²	207 m ²	3,596 m ²

(6) 事業年度 9月 ～ 8月

(7) 認定・許可事項(令和2年10月現在)

【本社】 建設業許可 国土交通大臣 許可(般-28)第24251号 機械器具設置工事業
【広島営業所】 ひろしまエコ事業所認定

【認証・登録の対象組織・活動】

登録組織名 広和機工株式会社

関連事業所 宇部事業所

広島営業所

南九州事業所 (2020年6月～中間審査追加認定)

活動 変減速機等の一般機械機器の卸売及び関連商品の修理・据付



【環境目標とその実績】

(1)環境目標 ☆中期目標値☆

項目		年度 単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
			基準値(実績)	目標	目標	目標
《二酸化炭素排出量》						
総排出量 ※1	原単位目標 対前年比 △1%	kg-CO ₂ /万円	0.425	0.421	0.417	0.413
電力の削減	電力原単位目標 対前年比 △1%	kWh/万円	0.307	0.304	0.301	0.298
自動車燃料の削減	目標削減率	km/ℓ	—	前年実績を 下回らない	前年実績を 下回らない	前年実績を 下回らない
(ガソリン車、軽油車燃 費改善)	燃費	ガソリン	17.8	17.8	17.8	17.8
		軽油	8.3	8.3	8.3	8.3
《廃棄物排出量削減》						
一般廃棄物の削減	原単位目標 対前年比 △1%	kg/人	130.0	128.7	127.4	126.1
産業廃棄物の削減	原単位目標 対前年比 △1%	kg/100万円	2.867	2.838	2.810	2.782
《排水量削減》						
水道水の削減	基準料金内での使用	円/月	—	基準料金内	基準料金内	基準料金内
《環境配慮資材購入》						
事務用品のグリーン購入	全購入品に対する比率	%	—	75%	極力グリーン商品の購入に努める	
《社会貢献活動》	会社周辺の清掃		—	定期的な清掃	定期的な清掃	定期的な清掃
	社会貢献活動の実施			年1回献血	年1回献血	年1回献血
《化学物質削減》	取扱い使用量が微量のため削減は難しいが適正に使用管理、定期的な確認を行う		—	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認
《自らの事業活動による環境への取組》	旧型使用客先から 高効率モーターへの 切替促進活動	台	—	年150台更 新切替	年150台更 新切替	年150台更 新切替
					年12台販売	年12台販売

注記)

※1 目標としての二酸化炭素総排出量は、電力と自動車燃料のみを対象とした数値

※2 電力二酸化炭素排出係数は調整後排出係数の 中国電力 0.694kg-CO₂/kWh、リコー 0.359kg-CO₂/kWh、ミツウロコ 0.493kg-CO₂/kWh を使用しています。

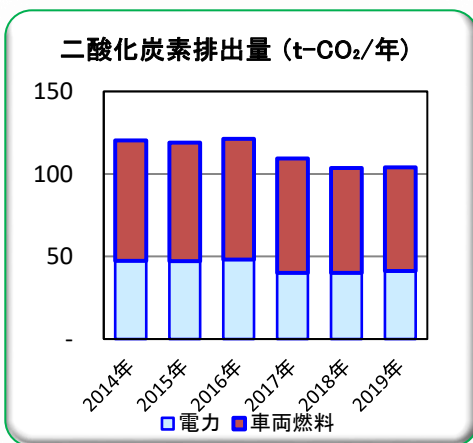
※3 「自らの事業活動による環境への取組」については今後IE3モーターは必要項目となるため、2014年度からは『旧型使用先から高効率モーターへの切替促進活動』として活動を致します。

※4 上記※3の取組は、2019年度から協働ロボットの拡販として行います。(12台/年)

【環境目標とその実績】

(1)2019年度 環境目標達成状況

項目		年度 単位	2018年度	2019年度	2019年度	評価	
			基準年(実績)	目標	実績		
二酸化炭素排出量	CO ₂ 原単位の目標と実績		kg-CO ₂ /万円	0.425	0.421	0.478	×
	電力の削減	総売上高	万円/年	243,890	—	220,242	
		使用量	kWh/年	74,869	—	80,007	
		原単位	kWh/万円	0.307	0.300	0.363	
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	40,092	—	41,290	
自動車燃料の削減 (ガソリン車、軽油車燃費改善)	目標と実績		—	前年実績を下回らない	ガソリン1.02%悪化 軽油0.97%改善	△	
	燃費	ガソリン	km/ℓ	17.8	17.8以上		17.35
		軽油	km/ℓ	8.3	8.33以上		8.58
	CO ₂ 排出量		kg-CO ₂ /年	63,539	—		62,747



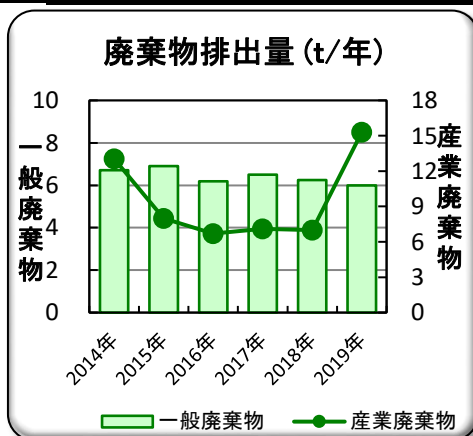
二酸化炭素排出量年度推移表(単位：kg-CO₂/年)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
電力	47,328	47,260	48,194	40,172	40,092	41,290
車両燃料	72,908	71,632	73,053	69,122	63,539	62,747
その他の燃料(ガス)を含めた総量						105,429

主な要因

☆電力については新型コロナウイルス感染の対応として換気をしながらのエアコン使用により総使用量は増えた

項目		年度 単位	2018年度	2019年度	2019年度	評価	
			基準年(実績)	目標	実績		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	原単位	kg/人	130.3	128.7	117.5	△
		廃棄量/社員数	kg/人	6,240/48	—	5,995/51	
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	原単位	kg/百万円(売上高)	2.868	2.838	6.952	×
		廃棄量/総売上高	kg/百万円(売上高)	6,992/2,438	—	15,308/2,202	



年度推移表(単位：kg/年)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
一般廃棄物	6,710	6,900	6,180	6,500	6,240	5,995
産業廃棄物	13,033	7,992	6,703	7,113	6,992	15,308

主な要因

☆南九州事業所分の産業廃棄物が増加要因の一つ

☆一般廃棄物について削減意識向上

【環境目標とその実績】

(1)2019年度 環境目標達成状況

項目	年度 単位	2018年度	2019年度	2019年度	評価	
		実績	目標	実績		
《排水量削減》						
水道水の削減	年間使用量が極端に少ないため、適正な使用量管理(定性的)と使用量把握を目標とする	適正管理と使用量把握	適正管理と使用量把握	適正管理と使用量把握	○	
《環境配慮資材購入》						
事務用品のグリーン購入	全購入品に対する比率	%	67%	75%	50%	×
《社会貢献活動》						
	会社周辺の清掃		定期的に実施	定期的な清掃	定期的に実施	○
	社会貢献活動の実施		2019.3.27 実施	年1回献血	2020.3.24 実施	
《自らの事業活動による環境への取組》						
高効率モータ付減速機の販売	旧型使用客先から高効率モーターへの切替促進活動	台	年間更新 433台切替	年間更新 150台切替	年間更新 407台切替	○
《化学物質削減》						
	取扱い使用量が微量のため削減は難しいが適正に使用管理、定期的な確認を行う		適正に管理 使用を確認	適正に管理 使用を確認	適正に管理 使用を確認	○
《LPG使用量の削減》						
	年間使用量が少量のため適正に管理/使用量を把握することを目標とし、具体的削減目標は設定しない。					

☆献血活動

今期で8年連続実施！ 近隣会社からも多数参加。
コロナ禍の中、不足状態であった献血に
皆さまのご協力に感謝です。

参加者 56人

☆献血者 47人(男性 36人女性 11人)



【環境活動の取組計画と評価】

取組計画	評価(結果と次年度の取組み)
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂ /年)	【総評】 コロナ過の影響や繁忙期が避けられない状況ではありましたが、宇部事業所・南九州事業所が目標達成しているだけに非常に悔しい所です。今後もコロナ対策は続きますが引き続きエコドライブ等注意喚起してまいります。
電力の削減(kg-CO₂/年) ①空調用フィルターの定期的な清掃 ②エアコン設定(冷房28℃、暖房20℃) ③水曜日6時半退社 ④電力会社の見直し	目標は未達に終わった。 今回は新型コロナウイルス感染防止対策として換気をしながらのエアコン使用となり目標設定温度での設定は中々し辛い状況で使用量が増加した。今度も体調管理の面においてもエアコンの適正な使用を心がけ温度設定を調整しながら節電に繋がる使用としていく。
自動車燃料の削減(kg-CO₂/年) ①ポスター、朝礼でのエコ運転の呼びかけ ②定期的な車両整備(タイヤ空気圧等) ③新入社員に対しての安全運転講習実施 ④車内の整理整頓	定期的な監査やエコ運転の周知により燃費の向上に効果が表れているが、感染防止対策として数人での現場への移動は換気をしながらのエアコン使用等燃費に影響を及ぼすこともあり目標達成には至らなかった。今後もエコドライブの周知喚起をしていく。
一般廃棄物の削減(kg/年) ①梱包材削減のため事務用品をまとめて購入 ②集約コピー機能の活用徹底	目標は未達であった。日常業務での削減取組(集約コピー等)の意識は浸透しており実施はできているが、業務の繁忙による廃棄物の増加も必然であり中々目標達成は難しい。また今期は南九州事業所の移転に伴う廃棄物の増加も要因の一つである。今後も削減のための意識向上と徹底を事務局より発信していく。
産業廃棄物の削減(kg/年) ①適正な管理/処分を行う	目標は未達であった。 以前からの要因である製品の梱包材の廃棄が多く占めるが再利用の難しい状況で現状対応の仕様が無いのが問題である。サービス業務の増加による廃プラ等処分量が増加も原因の一つである。今後も廃棄物管理については適正に行い処分をする。
水道水の削減(m³/年) ①節水シールの貼付とポスター掲示 ②節水の周知徹底	目標は達成できた。 今後も不必要な使用を控え、節水への周知を図っていき、帰宅時の蛇口の確認も含め節水意識の徹底を周知していく。
事務用品のグリーン購入(品目%) 極力、グリーン商品の購入に努める	今期も継続してグリーン購入を推進実施したが、目標は未達に終わった。目標値は未達であったが、今後も新たに購入する商品についてもグリーン購入対象商品の購入を徹底していく。
社会貢献活動 ①会社周辺の年3回の清掃 ②年一回の献血	定期的に会社周辺清掃活動実施。今回は献血不足の状況の中、多くの方に協力いただき主催者の赤十字社の方からも大変感謝いただいた。今後も地域貢献の一環として継続していきたい。
高効率モータ付減速機の販売 ①PTC資料をもとに促進活動及び切り替え促進	各営業マンの注力により目標は達成。今後も各取引先での認知を広め、高効率モーターを拡販し地球環境に優しい産業界に貢献したい。
化学物質の削減 適正な管理とSDSの確認、関係者への周知	適正に管理し保管している。

【各活動風景】

(AED訓練) 南九州事業所



(AED訓練) 宇部事業所



(油漏れ対策訓練) 宇部事業所



(火災訓練の様子) 本社火災通報訓練



(産廃運搬記録説明会の様子) 本社



(2020年2月南九州事業所稼働)



【環境関連法規の遵守状況】

当社に適用される環境関連法規は下表のとおりであり、これら法規への違反はありません。
また、苦情もありませんでした。

なお、訴訟および関係当局より違反等の指摘も、過去3年間ありません。

適用される法規制	適用される事項	評価
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の適正処理委託	違反なし
騒音規制法	設置機器等の届出	違反なし
振動規制法	特定施設の届出で、基準の順守	違反なし
浄化槽法	届出および定期点検	違反なし
消防法	潤滑油・灯油適正管理	違反なし
道路交通法	社用車20台以上を使用	違反なし

【代表者による評価】

この度の新型コロナウイルス感染症は日本国内のみならず、全世界の社会・経済を震撼させました。東京オリンピックの延期、インバウンド4000万人の消滅は、桁外れの財政出動を余儀なくされる中、国内外の移動制限・密の回避、ソーシャルディスタンス確保の継続は、否応なくテレワークの取組みWEB環境の促進加速、結果としてCO2の削減、廃棄物抑制等、多分野で環境改善に寄与しています。

我々はこの試練をチャンスと捉え、ICT・IoTの導入、整備の情報を取捨選択し、生産性向上を図りつつ事業の効率化、無理・無駄の抑制の水平展開、EA21推進に着実に結実させる仕組み作りの構築を意欲的に推進すべく、原理原則を忘れず取り組みを加速させる所存であります。

我が社はEA21事務局を中心に、会社規模で環境改善・CO2削減に取り組む姿勢を堅持、浸透を図り個々の社員も巻き込み社会に貢献還元する活動を支援しつつ、成果の可視化を推進してまいります。

With/Afterコロナを念頭に、環境基本方針、環境活動計画に基づき、EA21推進により深く関与し、全社一体で環境問題に取り組み、地域に根差し社会的責任を果たす姿勢を内外に示していく所存です。

令和2年10月12日
広和機工株式会社
代表取締役 余越 剛吉

